

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

**エントリー学校名：**

宮崎県高原町立後川内小学校

**活動名：**

めざせ！よりよい授業  
 生み出せ！教材研究・準備の時間

**解決すべき課題：**

○小規模校で職員の校務分掌や業務が多く、教材研究や授業の準備時間の確保が課題である。  
 ○働き方改革、学力向上、新型コロナウイルス感染症の影響など、限られた職員数と勤務時間、先の見通せない状況の中、解決すべき多くの課題があり、考えることなく業務を進める傾向がある。

**目標・方針：**

【業務の改善と精選】 業務を精選・改善し、教材研究や授業準備の時間を生み出す。  
 【課題の重点化と主体的な取組】対話を通して学校経営ビジョンの重点目標の設定、職員への意識付け、主体的な取組を促し、課題を解決していく。  
 【授業改善】学力向上に向けて、主題研究を柱に視点に基づいた取組を継続し、よりよい授業をめざす。

**活動内容：**

【業務の改善と精選】①午前 5 時間制への移行（高原町教育委員会の指針）→放課後の時間確保②定例の家庭訪問は居住地把握を目的に条件付きの保護者希望制→時間短縮  
 【課題の重点化と主体的な取組】①重点目標設定時の状況把握、各職員の目標設定・中間ミーティングでの課題と成果の振り返り→課題の重点化、課題解決につながる目標・取組の設定と主体的な実践  
 【授業改善】①主題研究を柱に授業改善の視点を設定②主題研究と同じ視点で授業力向上月間（高原町教育委員会の指針）における授業改善→日常の授業における継続した改善③ICT 活用研修の段階的実施→ICT の効果的活用による授業充実と準備の効率化

**活動の成果：**

○「午前 5 時間制」→放課後の教材研究や準備の時間増 「家庭訪問」→教員：「可能な限りの対応ができた。感染防止と時間短縮になった。」（以前と同じ学級担任の場合は保護者の希望制）  
 ○重点目標設定(4月)・各自の目標設定(5月)・中間(7月)において、個別のミーティングを実施した。ミーティングでは各自が進捗状況や今後の手立てを述べるとともに、対策を立案し、提案する姿が見られる。  
 ○主題研究で学力向上を図る授業の視点 4 つを設定し、研究授業（全職員 1 回）に加えて授業力向上月間（全職員 2 回）の授業で、視点に応じた手立てを講じた【写真 1】。これにより、継続して手立てやその効果について協議し、改善に生かそうとする様子が見られる。ICT 研修は、1 回目は機器の基本的な活用、2 回目はシステムの活用の仕方で行い、授業準備の効率化や授業の質の向上に生かされてきている。

**アピールポイント（アイデアや工夫）：**

- 職員をつぶやきで目的にもどって考え、改善することで、職員の業務改善と精選に対する意識が高まる。
- 目標設定や振り返りのミーティングを通して、職員のよさを生かし、意欲を高めることができる。
- 主題研究や研修で課題解決を図ることで、日常的に職員の学び合いや高め合いが生まれる。

教材研究・授業準備の時間増 よりよい授業づくりへの意欲

【業務の改善と精選】  
 事例  
 ○午前 5 時間制  
 ○家庭訪問 ※①  
 ○集会・班会等の精選  
 ○学校行事の見直し（学習発表会中止等）  
 効果  
 ○放課後の時間確保  
 ○時間短縮  
 ○業務減

【課題の重点化と主体的な取組】  
 事例  
 ○重点目標設定時の話合い（現状把握）  
 ○各職員の目標設定時の話合い（期待すること、意識付け）  
 ○中間ミーティングでの振り返り（取組の価値付けと改善）  
 効果  
 ○課題の重点化  
 ○主体的な取組 ※②

【授業改善】  
 事例  
 ○授業改善の視点設定 ※③  
 ○授業力向上月間の参観授業  
 ○ICT 活用研修 ※④  
 効果  
 ○視点に基づいた授業改善の継続  
 ○ICT 活用による授業準備の効率化、授業の充実  
 ○職員の日常的な学び合い

※① 家庭訪問の反省（教育課程の反省より）

行事計画	達成度	達成率	達成率	達成率
3 機器的行事・指導週間はのわらいを十分に達成でき、計画的に実施できたか。	1	6		3.1
4 参観日・家庭訪問を通して、家庭との連携を図ることができたか。★玄関先家庭訪問はどうか。	3	4		3.4
5 参観日、家庭訪問の日程、時間等は適当か。	1	6		3.1
6 1/2 時間程度の参観日・家庭訪問の時間を確保しているか。★本年度は実施せず	4	無回答	3	3

改善策等  
 5について～O玄関先訪問で十分であった。  
 3・5について～O感染防止で時間短縮、形態変更などで可能な限りの対応ができたと思う。

※④ 外部講師による ICT 研修



※②主体的な取組の一例

重点目標「新しい生活習慣」の習慣付けに向けた取組  
 【児童の自己評価による実態把握と手立て】

**アンケートの結果**

項目	できた	できた	できなかった
1 ハンカチ・ちの紙をポケットに入れておく。	21	7	1
2 ハンカチ・ちの紙をポケットに入れておく。	10	18	1
3 ちの紙の使い方	16	5	8
4 体育の後の手洗い	21	8	0
5 掃除の後の手洗い	28	1	0
6 掃除の後の手洗い	18	9	2
7 帰りの会の前に学級担任が手洗い・うがいをさせる。	24	4	1
8 帰りの会の前に学級担任が手洗い・うがいをさせる。	11	9	8
9 トイレの手洗い	22	6	1
10 トイレの手洗い	21	8	0
11 トイレの手洗い	19	6	4
12 トイレの手洗い	7	19	3
13 トイレの手洗い	20	9	0
14 トイレの手洗い	27	2	0

・健康観察時にチェック。その後、ハンカチはポケットに入れておく。  
 ・体育の後、手洗い・うがいをよびかける。  
 ・帰りの会の前に学級担任が手洗い・うがいをさせる。  
 ・足型シートを設置する。  
 ・図書室の椅子を1つ空けて使用する。  
 ・くつ箱を1つ空けて使用する。

※③ 授業改善の4つの視点

参観の視点	内容
1	(何のために読むのか、児童に) 目的意識をもたせることができたか。 ○めあて・学習課題、まとめ ○読ませる前の指示・発問
2	(文章や資料を正しく読ませるための) 手立ては適切であったか。 (例)・図、絵、表の提示や取り上げ方 ・ICTの活用 ・音読 ・正しく読ませるための指示・発問
3	基本的な学習態度が身に付いているか。 ○聞き方(同じ所、違うところ、良さを見つける) ○発表(相手に伝わりやすいように)
4	習熟の時間が確保できたか。 ○学習内容の精選 ○児童の実態に応じた授業内容

写真 1【研究授業・参観授業の様子】

